

大原社会問題研究所五十年史

III 本格的事業の展開から東京移転まで〔一九二三～三六年〕

研究調査の成果

この年(一九二四年)の研究所の出版物は、労働年鑑、社会事業年鑑のほか、雑誌は二号、三号を発行し、ほかに北沢新次郎『東京における機械工業の熟練職工としての仕上工並に施盤工の賃銀調査報告』(社会問題研究所叢書第八号)、パンフレット第一三号大内兵衛『英国議会に於ける労資の対戦』以下第一六号までが刊行された。社会衛生年鑑の編集発行は本年度より労働科学研究所にひきつがれた。

調査事業としては、前年度よりの継続調査のほか、新に太田敏兄氏を臨時嘱託として(九月五日)農民組合調査を、同じく八木久夫氏を臨時嘱託として家計調査資料の整理を実施した。

なお労働年鑑の編集は今年まで権田氏が責任担当者となっていたが、同氏が九月研究所より海外留学のため渡欧ときまったので、その留守中、高野氏がこれに当ることになった。九月一日に帰朝した嘱託の宇野弘蔵氏の歓迎を兼ね、同月一三日、権田氏渡欧記念会が開かれ、大原氏はじめ多数の出席者があった。また一二月二二日には、留学を終えて帰った高田慎吾氏の歓迎会が開催された。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)